

DEREK PRINCE
MINISTRIES INTERNATIONAL

ディボーション

感謝のしるし

絶えず賛美の犠牲を捧げましょう



日 363/365
Declaring God's Word
著者 デレク・プリンス

これまで見てきたように、感謝は聖書の直接の命令であり、聖霊に満たされている確かなしるしです。これを私たち一人ひとりに当てはめてみると、二つのことがわかります。一つは、感謝しないクリスチャンは、不従順です。二つ目は、感謝しないクリスチャンは聖霊に満たされていません。

感謝はまた、神の臨在に入るための条件でもあります。試練１００篇４～５節にこう書かれています。

> 「感謝しつつ　主の門に　賛美しつつ　その大庭に入れ。主に感謝し　御名をほめたたえよ。主はいつくしみ深く　その恵みはとこしえまで　その真実は代々に至る。」

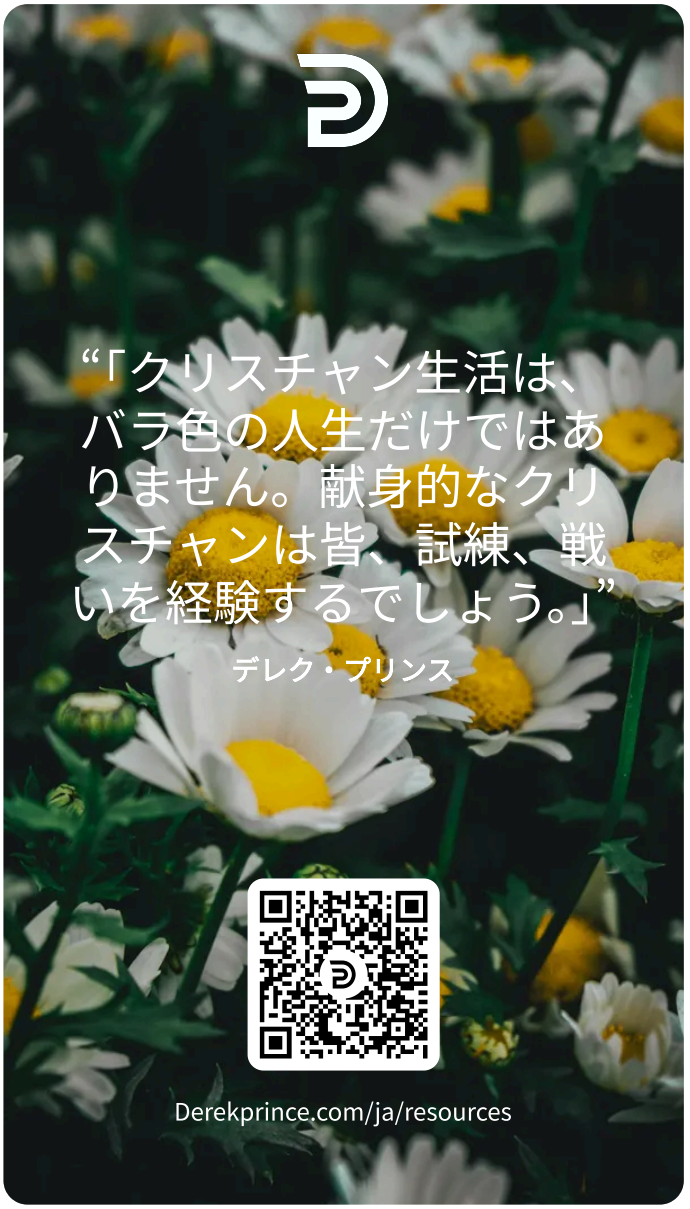
神に近づくために不可欠な二つの段階は、感謝しつつ主の門に入ることと、賛美しつつ大庭に入ることです。

また、詩篇の作者は、私たちが神を賛美すべき三つの具体的な理由を挙げています。①主はいつくしみ深いこと、②主の恵みはとこしえまでであること、③主の真実は代々に至ることです。これらは恒久的で変わることがありません。繰り返します。神は常にいつくしみ深いお方です。神の恵みは変わることがありません。神の真実、誠実さは永遠に変わることがありません。神への感謝が私たちの感情や状況に左右されてはいけません。私たちの気分は日によってアップダウンします。励まされる日もあれば、落胆する日もあります。しかし、神への感謝の態度を変える理由は何一つないのです。

これら三つの永遠の事実に基づいて、神に近づくために私たちのフォーカスを変える必要があります。苛立たせること、落胆させられること、腹立たしいことから目を背け、信仰の目を通して見る永遠のものに目を向けましょう。正しいフォーカスをもって神のもとに行くとき、私たちは神から聞いて、神から受け取る姿勢になることができます。

© 2008 - デレク・プリンス・ミニストリーズ・インターナショナル・インク

ディボーション ★
原稿: WD-B097-363-JPN
最終更新日: 04 Oct 2026
ウェブサイト: Derekprince.com/ja/resources



© 2008 - デレク・プリンス・ミニストリーズ・インターナショナル・インク